

第七十回国民体育大会 総合開会式 大臣挨拶

本日、天皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、第七十回国民体育大会が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

また、平成二十七年九月関東・東北豪雨」により、甚大な被害を被られた皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。被災された地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

選手の皆さん。全国各地の予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として「紀の国わかやま国体」に出場されますこと、誠におめでとうございます。

本大会は、躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに、和歌山県全域を舞台に開催されます。五年後の二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されますが、本大会に出場する皆さんの中から、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しております。

和歌山県は、深き山、清き川、青く雄大な海などの魅力にあふれ、世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道」を擁する、豊かな自然と歴史、文化が息づく地です。

政府としても、このような日本各地の地域資源を積極的に活用しつつ、スポーツ・文化イベントの実施等を通じて全国で気運を盛り上げ、日本社会を元気にする取組を推進します。特に、スポーツ分野においては、来る十月一日にスポーツ庁を設置し、スポーツに関する施策を総合的に推進してまいります。

本大会では皆さんがこれまで積み重ねてこられた練習の成果を存分に発揮し、はつらつとしたプレーで、東日本震災の被災地はもとより全国の皆さんへ、大きな元気とスポーツの魅力をお届けいただけるものと期待しております。また、この機会に、全国の仲間と交流の輪を広げられ、思い出に残るすばらしい大会となるよう願っています。

結びに、本大会の成功に向け、県民総参加で、諸準備に当たられました地元和歌山県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援・御協力に対し、感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。